

横断歩道は手を上げて

小学校で呼び掛け

【愛知】愛知県トラック 太会長）は6月18日、緑警協会の緑警察署管内トラック 察署と協力し、トラックをク交通安全協力会（幣旗良 使った交通安全教室を相原

小学校で開いた写真真。

幣旗会長が「トラックはどのような動きをするか勉強してもらいたい。前輪と

（幣旗貴行社長、愛知県大府市）とアース・セーフティ・サービス（土川一克社長、名古屋市緑区）など3台のトラックを使用した。巻き込み事故実験では、白線で描いた交差点角に風船を設置し、トラックがゆっくりと左折しながら、後輪で風船を割る様子を披露した。

後輪の内輪差など近付くと危険な時がある。今日は横断歩道のマナー体験も行うが、トラックからは見えにくい部分があるので、横断歩道は手を上げて渡るようにしてほしい」と呼び掛けた。

児童全員がトラックの運転席や助手席に乗り込んで死角を体験。トラック前方で立ったり座ったりする児童の見え方を検証し、ドライバーからは見えないケースがあることを確認した。更に、横断歩道手前にトラックが停車した想定で、児童が横断歩道を速やかに渡る練習も行った。

セイリョウライン

（奥出和彦）

